

令和2年度進行管理・評価シート
高岡市歴史的風致維持向上計画（平成23年6月8日認定）
（最終変更令和2年3月13日）

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の実施と推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観計画の活用	2
2 都市計画法の活用	3
3 屋外広告物に関する規制	4
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 瑞龍寺山門ほか8棟保存修理事業	5
2 前田利長墓所整備事業	6
3 勝興寺大広間及び式台ほか11棟保存修理事業	7
6 市内町家等再生事業	8
7 金屋鋳物師町交流館整備事業	9
11 山町筋重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業	10
12 金屋町重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業	11
18 県道岡・笹川線道路整備事業	12
19 勝興寺寺内町道路修景整備事業	13
20 高岡御車山保存修理事業	14
24 菅笠保全対策事業	15
28 次世代型ものづくり人材育成事業	16
30 伝統工芸産業希少技術継承事業	17
31 次世代クリエイター工房開設支援事業	18
32 文化財等修理補助事業	19
33 菅栽培調査事業	20
34 ものづくり・デザイン科推進事業	21
35 前田家関連史跡調査事業	22
36 町並み保存・都市景観形成補助事業	23
37 ミラレ金屋町開催事業(旧金屋町楽市開催事業)	24
38 獅子舞大競演会開催事業	25
39 土蔵造りのある山町筋イベント助成事業	26
40 祭行事・イベント振興事業	27
41 「高岡再発見」プログラム事業	28
42 新たな芸術・文化創造推進事業	29
43 日本遺産魅力発信推進事業	30
45 「高岡の歴史文化に親しむ日」に関する作品募集事業	31
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の調査・研究の充実	32
2 文化財の適切な保存管理	33
3 郷土教育と人材育成の継続	34
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 効果・影響等に関する報道	35
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 ストリート構想に基づく施策・事業の推進	36
2 歴史まちづくり事業の住民活動等への広がり	37
口法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	38

評価軸① 組織体制		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
1 計画の実施と推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	高岡市歴史的風致維持向上計画の実施及び推進に係る連絡調整を行うため、法に基づき高岡市歴史まちづくり協議会を組織し協議する。また、歴史都市形成プロジェクトの推進及び計画に基づく施策・事業の進捗を図るための庁内組織として、副市長をトップとする「歴史まちづくり推進会議」を設置し協議する。その他、必要に応じて都市創造部次長をトップとし、関係部局の課長級職員で幹事会を開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史まちづくりの推進や関連する取り組み状況の市民への周知方法、伝統工芸技術の保存継承対策等の各諸課題について検討した。 【定量的評価】 協議会3回開催、推進会議3回開催、幹事会4回開催			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○高岡市歴史まちづくり協議会 ・第13回(令和2年7月20日開催) ・第14回(令和2年10月1日開催) ・第15回(令和2年12月24日開催)			
○高岡市歴史まちづくり推進会議 ・第16回(令和2年7月6日開催) ・第17回(令和2年9月4日開催) ・第18回(令和2年11月30日開催)			
○高岡市歴史まちづくり推進会議幹事会 ・第25回(令和2年5月25日開催) ・第26回(令和2年6月23日開催) ・第27回(令和2年8月18日開催)			
歴史まちづくり計画の推進体制			

評価軸②-2
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和2年度
2 都市計画法の活用		現在の状況
		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 山町筋重要伝統的建造物群保存地区、金屋町重要伝統的建造物群保存地区において、修景基準及び許可基準を運用し、修理や現状維持、地区内での調和のとれた修景を図る。
 その他、風致地区に指定している5地区について、地区内の自然的景観を保全し、良好な市街地環境の維持を図っていく。

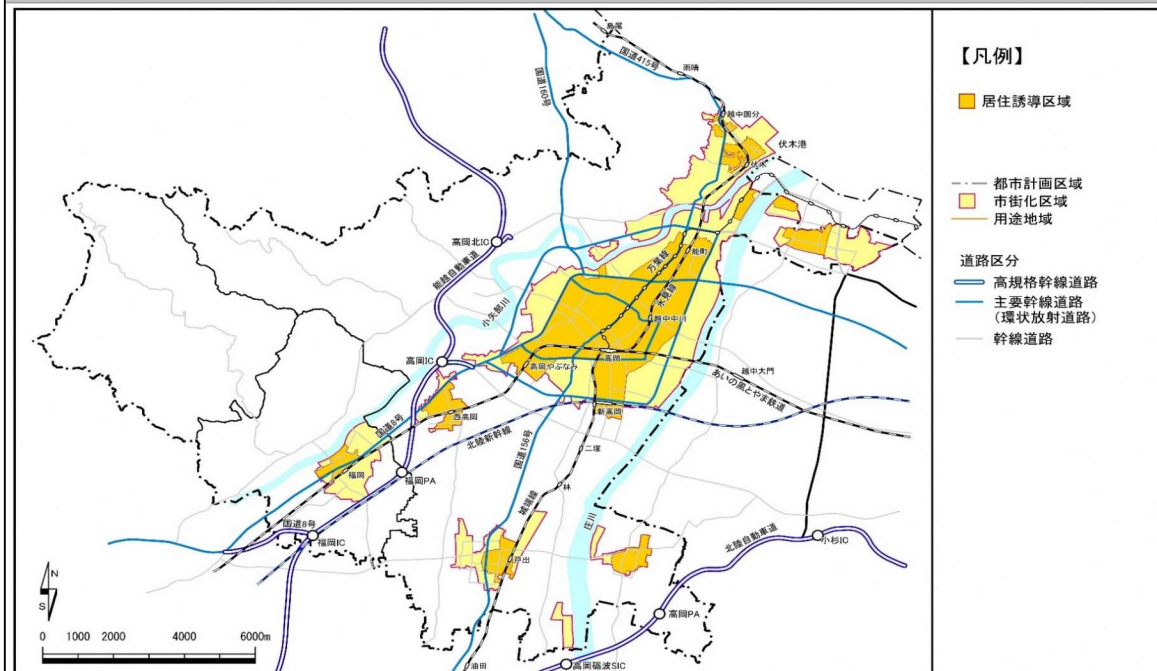
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成24年4月に、高岡鑄物発祥の地・金屋町を伝統的建造物群保存地区に都市計画決定した。
 また、都市計画道路について、取り巻く社会情勢の変化に伴い、その必要性が変化していることから、事業未着手路線に関して計画の見直しを進めている。平成24年3月には、未着手都市計画道路のうち、17路線39区間を見直し候補とした「都市計画道路見直し計画」を策定し、9路線24区間について、都市計画の廃止・変更手続きを完了した。
 平成28年度からは都市計画の基本方針である都市計画マスタープランの見直しに着手し、平成30年12月に新たな都市計画マスタープランを策定した。同計画の全体構想では都市づくりの基本方針の1つに「歴史・文化を活かした都市づくり」掲げている。また、併せて策定した高岡市立地適正化計画では居住誘導区域の設定基準の1つに歴史まちづくり計画の重点区域を採用した。

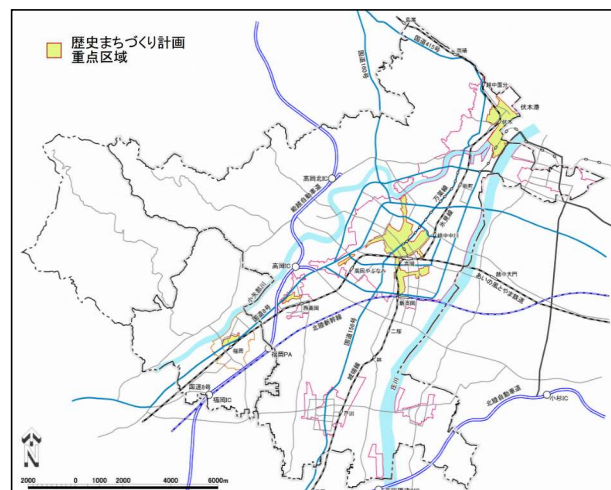
進捗状況 ※計画年次との対応
 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



居住誘導区域



歴史まちづくり計画の重点区域

評価軸②-3 重点区域における良好な景観を形成する施策		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
3 屋外広告物に関する規制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	富山県屋外広告物条例に抵触する違反屋外広告物の是正指導等、適正化の徹底を図るとともに、高岡市条例の制定について検討していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
富山県屋外広告物条例の改正に伴い既存不適格となった屋外広告物の是正に対して、条例の趣旨説明や是正に向けた働きかけを行ったほか、違反広告物の是正を図っている。			
<ul style="list-style-type: none"> ・既存不適格是正実績(直近3年) 平成30年度:7件、令和元年度:12件、令和2年度:30件 ・全体 是正(除却含む) 75件 / 既存不適格 96件 <p>既存不適格の屋外広告物の是正により、歴史的な町並みの保全及び良好な景観の形成につながっている。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	既存不適格広告物の是正が順調に進んでいる。是正が完了していない企業に対しては、引き続き、是正計画書を提出させる等して是正指導の強化を図りたい。		
状況を示す写真や資料等			
<p>既存不適格広告物の是正事例 (屋上広告の除却)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>是正前</p> </div> <div style="font-size: 2em;">▶</div> <div style="text-align: center;">  <p>是正後</p> </div> </div>			

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
			現在の状況
1 瑞龍寺山門ほか8棟保存修理事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成24年度～令和2年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金		
計画に記載している内容	瑞龍寺禅堂等のこけら葺屋根等に傷みがみられることから保存修理を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年度において以下の工事を実施した。 ※今年度ですべての工事が完了となった。 北回廊屋根葺き替え工事完了			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

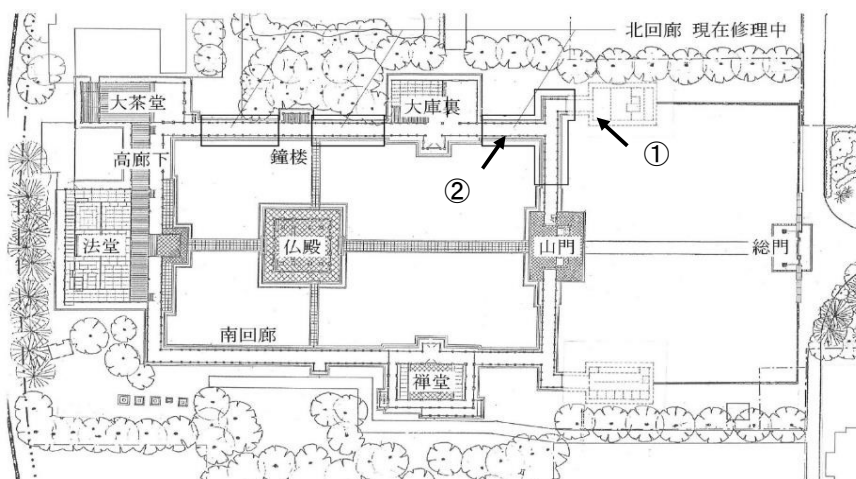
状況を示す写真や資料等



【北回廊】工事完了 ①



【北回廊】工事完了 ②



伽藍配置図

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
		現在の状況	
2 前田利長墓所整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金		
計画に記載している内容	国指定史跡前田利長墓所について、保存管理計画及び整備基本計画に基づく復原修理事業を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和元年度は、国庫補助による保存整備事業は実施していないが、富山県の森林サポーターの協力により、外区の樹木の整理を実施し、外側からの眺望景観の改善を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
森林サポーター作業風景			
			
作業後風景			

評価軸③-3 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
3 勝興寺大広間及び式台ほか11棟保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成17年度～令和2年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金		
計画に記載している内容	勝興寺大広間及び式台ほか11棟(重要文化財)の保存修理を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年度は以下の工事を実施した。 ※今年度ですべての工事が完了となった。 総門修理完了			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 <p style="text-align: center;">【総門】修理完了</p>  <p style="text-align: center;">伽藍配置図</p>			

評価軸③-4 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
6 市内町家等再生事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～令和2年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	登録有形文化財をはじめとする市内の町家に経年劣化や損傷が見られることから、歴史的風致形成建造物に指定し、その修理に対し補助金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
※令和2年度は補助実績なし			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
7 金屋鑄物師町交流館整備事業			現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成28年度～令和2年度以降		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	金屋町において鑄物師町交流館を整備し、伝統的建造物群保存地区の景観を向上させるとともに、全国からの若手人材の受入、育成、定着を促進することにより地場産業の振興を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度	整備計画の策定		
平成29～30年度	建設用地取得、設計		
令和元年度～2年度	建設工事(研修棟)※R2.9.18供用開始		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	周辺類似施設との関係性など施設のあり方の整理が課題であり、その進捗を踏まえながら整備を進めていく。		

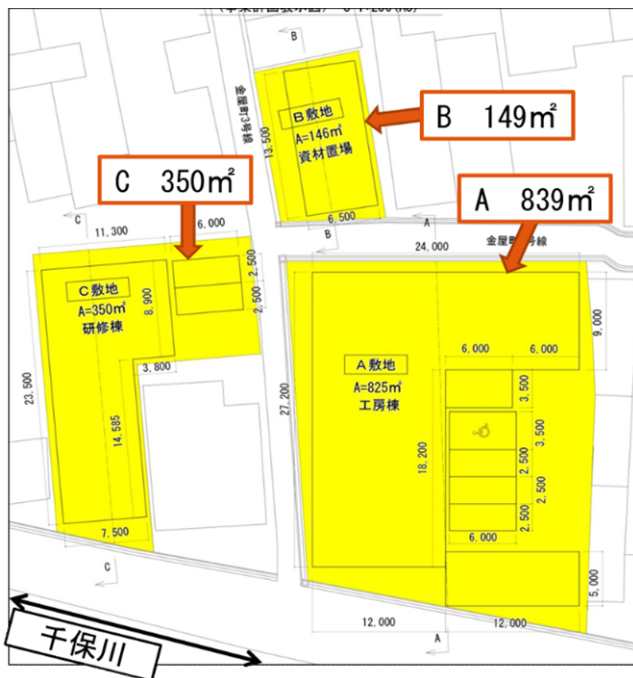
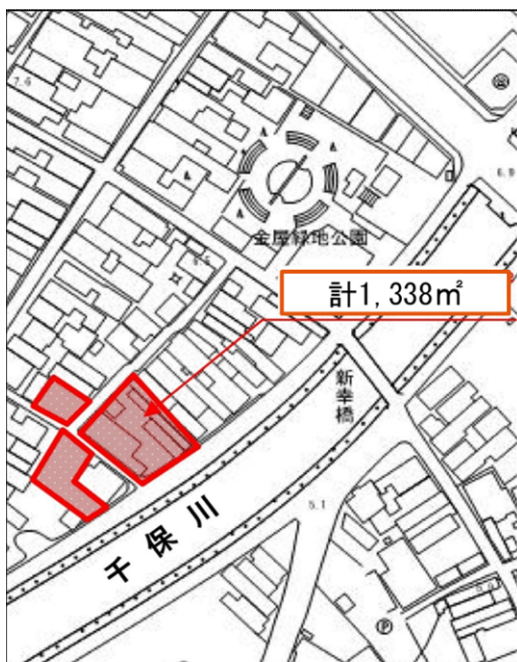
状況を示す写真や資料等



研修棟外観(下図C)



研修棟内部(下図C)



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
11 山町筋重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成13年度～

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 山町筋重要伝統的建造物群保存地区において、伝統的建造物の修理、非伝統的建造物の修景事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和2年度事業内容
伝統的建造物の修理 土蔵4件

※建造物の傷み具合や景観への貢献度を加味し、修理・修景事業案件を決定し、実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【修理事例】



【室崎家住宅土蔵】修理前



【室崎家住宅土蔵】修理後

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
			現在の状況
12 金屋町重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金

計画に記載している内容 金屋町重要伝統的建造物群保存地区において、伝統的建造物の修理、非伝統的建造物の修景事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和2年度事業内容
 伝統的建造物の修理 主屋2件 非伝統的建造物の修景 塀修景1件
 ※建造物の傷み具合や景観への貢献度を加味し、修理・修景事業案件を決定し、実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【修理事例】



【鍛冶家住宅主屋[東棟,西棟]】修理前



【鍛冶家住宅主屋[東棟,西棟]】修理後

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
		現在の状況	
18 県道岡・笹川線道路整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～令和2年度

支援事業名 都市構造再編集中支援事業補助

計画に記載している内容 県道岡・笹川線の(都)中央線区間において、カラー舗装や側溝敷設替などの修景整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・関係機関との協議・調整を行いながら、全長880mの修景整備を実施するものである。
- ・定性的評価(実施内容)
 - 平成29年度 測量設計業務委託を実施
 - 平成30年度 関係機関との協議・調整を実施
 - 令和元年度 市：電柱の修景化を実施(6箇所)
 県：側溝改修工事(100m)と消雪配管リフレッシュ工事(修景化工事)(110m)を実施
 - 令和2年度 市：電柱(8箇所)と照明施設(4箇所)の修景化を実施
 県：消雪配管リフレッシュ工事(修景化工事)(331m)を実施
 側溝改修工事(150m)を実施

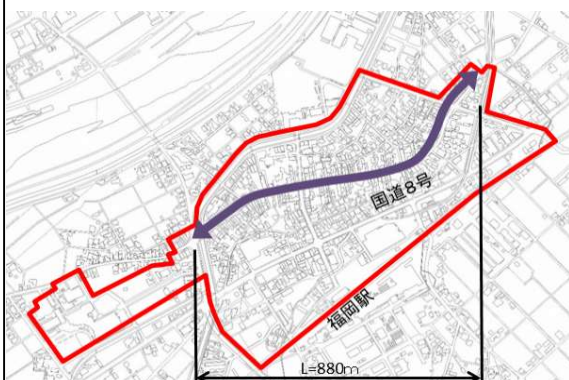
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



旧北陸街道福岡地区の町並み



事業箇所図



工事後(電柱、側溝、消雪管)の状況

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
19 勝興寺寺内町道路修景整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 伏木地区ストリート構想に則し、旧参道を中心とした道路修景整備を勝興寺の改修に併せて行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成29年度:基本計画作成にあたり地元住民の意見を参考にするため、まち歩きやワークショップを開催した。

・まち歩き・第1回ワークショップ(平成29年9月24日開催) ・第2回ワークショップ(平成29年10月29日開催)

平成30年度:実施設計のため現地測量や関係機関との協議を実施した。

令和元年度:

・修景整備内容について住民説明会を開催(令和元年7月18日開催)

・電柱移設(カラーポール化)5本(実施中) ・照明設置(電柱共架)5基(実施中)

・第1回高岡市新規デザインマンホール蓋検討委員会(デザイン方針決定 — 令和元年8月28日開催)

・第2回高岡市新規デザインマンホール蓋検討委員会(デザイン決定 — 令和2年1月30日開催)

令和2年度:

・電柱移設(カラーポール化)2本(実施中)・照明設置(電柱共架)5基(実施中)

・デザインマンホール蓋設置 10箇所(実施中)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



旧参道の現況



デザインマンホール蓋設置 10箇所

凡例	
●	デザインマンホール蓋
●	電柱移設(カラーポール化)及び照明設置(電柱共架)
○	照明設置(電柱共架)のみ



評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
20 高岡御車山保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成17年度～
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容	重要有形民俗文化財「高岡御車山」の山車に経年劣化や損傷がみられることから、順次修理を実施する。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和2年度
 ①木舟町御車山車輪及び車軸の修理
 構造部材の劣化を受け、奉曳の安全を確保する上で必要な修理を行った。
 ②木舟町御車山高花挿台・下花挿台の修理
 花傘を構成する挿台の修理を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



【木舟町】車輪修理の様子



【木舟町】高花挿台・下花挿台修理の様子

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
24 菅笠保全対策事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成25年度～
支援事業名	市単独事業 国宝重要文化財等保存・活用事業(H30～R2)

計画に記載している内容
 重要無形民俗文化財である越中福岡の菅笠製作技術は、菅栽培や製作技術者が減少の一途をたどっていることから、製作技術の維持・存続に向けて菅保全対策事業を実施するもの。
 菅笠づくりの後継者育成指導や研修、菅田保全のための調査、新商品の開発(平成25～29年度)を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

高岡市支援実績

- ・菅笠製作技術後継者育成(技術習得のため育成活動団体と協力して実施)
- ・菅笠展示・実演(イベントでの周知普及の実施及び団体への支援)
- ・菅笠保全活動団体との連携事業(体験講座の実施及び団体への支援)
- ・菅田保全のための調査(菅田の現況把握等)
- ・ブランド化等事業(新しい菅笠の提案等実施団体への支援)

主要活動実績

No.	活動内容	R1		R2		実施団体	備考
		回数	参加者数	回数	参加者数		
1	菅笠講座(笠骨)	20回	6名	20回	6名	H30～高岡市	
2	菅笠講座(笠縫)	20回	16名	20回	10名	H30～高岡市	
3	体験講座等	5回	136名	4回	43名	H30～高岡市・越中福岡の菅笠製作技術保存会	

上記支援や活動を通して、越中福岡の菅笠製作技術の周知や、後継者育成を図ることができた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	(課題) ・高齢化による技術保持者の減少 (対応策) ・後継者育成講座の充実

状況を示す写真や資料等

後継者育成(笠縫・笠骨講座)



後継者育成(職人育成)



菅笠づくり体験講座等



菅田調査



評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	

28 次世代型ものづくり人材育成事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 昭和43年度～基礎・研究コース、平成12年度～造形コース、平成26年度～3D造形コース、平成30年度～精密
 鑄造コース

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 伝統工芸産業に関わる人材に対して、伝統的工芸技術から最先端の3D技術を活用した幅広い技術習得を目的としたスクール事業を実施する。金工、漆工に関わる伝統工芸技術(彫金、鑄造、塗り、青貝、蒔絵など)及び3Dプリンターによる立体造形技術の習得を目指す。伝統技術と先端技術の融合による新たな人材育成につなげることで、新商品・新技術の開発の活性化に結び付け、伝統工芸産業の高度化を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和2年度は全9コースにおいて計47名の受講生12名の講師・助手による指導のもと技術習得に励んだ。
 昭和43年から実施しており、平成29年度末に50周年を迎えた。高岡市の伝統工芸産業である銅器・漆器について、高岡市伝統工芸産業技術保持者、伝統工芸士などを講師に迎え、工芸品制作に必要な材料、技術に関わる実践的内容を中心に産地の技術力向上、人材育成を目的として実施している。
 ※令和2年度は、コロナウイルス感染拡大の影響により、5月開講予定だったものを延期し、9月から開講した。
 <内容>
 【木曜夜間 午後6～9時】 ・金工:彫金 ・彫金研究コース(年26回) ・漆工:塗り ・加飾コース ・課題研究コース(年26回) ・3D:3D造形コース(年10回)※平成26年度から実施
 【第2・4土曜 午後1～5時】 ・金工:鑄造コース(年15回) ・精密鑄造コース(年8回) ・漆工:きゆう漆コース(年16回)
 ※平成12年度から実施

<実績> 受講生 計47名: 令和2年度(第27期前期)
 ・金工:彫金コース 6名 ・彫金研究コース 4名
 ・漆工:塗りコース 3名 ・加飾コース 7名 課題研究コース 2名 ・3D:3D造形コース 5名
 ・金工:鑄造コース 8名 ・精密鑄造コース 6名 ・漆工:きゆう漆コース 6名
 <成果>
 (1)修了生一延べ 1,121名(昭和43年～令和元年末)
 (2)伝統工芸作家、クラフトマン、また産業界の中堅技術者を多数輩出している。第一期生には人間国宝 大澤光民氏が修了している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

金工



彫金基礎コース



彫金研究コース



精密鑄造コース



鑄造コース

漆工



塗りコース



加飾コース



課題研究コース



きゆう漆コース

3D



3D造形コース

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
30 伝統工芸産業希少技術継承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	技術継承が危ぶまれている高岡銅器、高岡漆器における希少な伝統的技術・技法を保持する育成者とその継承者に対して支援を行なう。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成24年度から、旧「伝統的工芸品技術・技法継承者育成事業」の補助金額(2万5千円/月から5万円/月)と期間(1年間から2年間)を充実させ、「伝統工芸希少技術継承事業」として実施。 より希少な技術を継承する人材の育成・確保と自立・定住を促すことで、伝統工芸産業の活性化を図る。			
・平成30年度実績<育成者> 中村 喜久雄 <継承者> 上田 剛 【部門】銅器 焼型(平成29年度から継続) ・令和元年度実績:なし ・効果 平成24～30年度の間に、12組の技術継承を支援し、希少な技術が継承された。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和元年度より、財政健全化に伴い休止中。前回照会時に計画から削除されたため、回答なし		
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
31 次世代クリエイター工房開設支援事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～令和2年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 伝統産業技術者、デザイナーなど次世代を担うクリエイターに対する自立支援・活動支援のため、市内の空き家・空き店舗・空き工場等を活用して開設する工房(作業場)に対し改修費等を支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市産業振興に資するクリエイティブ産業(創造産業)分野に該当する者への支援として、工芸家、工業デザイナー等による市内での新たな工房(作業場)の開設に伴う賃借料(月額上限3万円、最長2年)、取得費(上限40万円)、改修・改装費(上限30万円)、設備機器費(上限10万円)のそれぞれ2分の1以内について補助金を交付する。

●令和2年度支援実績: 1件

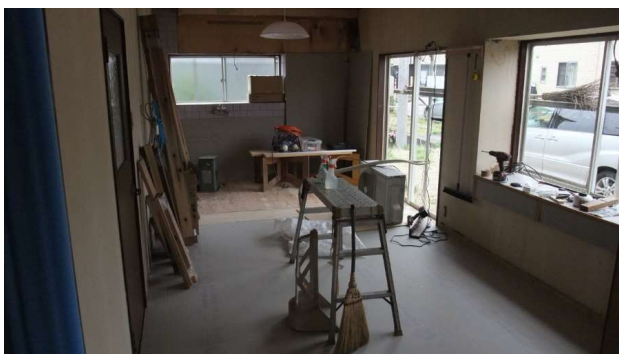
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



工房開設前写真①



工房開設後写真①



展示室



設備機器

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
32 文化財等修理補助事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成20年度～
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容	高岡地域文化財等修理協会に補助し、事務局である(公財)高岡地域地場産業センターと連携を取りながら、高岡御車山をはじめとする文化財の保存修理を図るとともに、高岡伝統技術の次世代への継承を図るもの
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・文化財等修理産業創出事業として販路開拓事業(県外へのPR、HP更新等)、人材育成事業(視察、研修会への参加)を実施。
- ・職人技の伝承資料を作成し、これらの記録、資料作成等を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	(公財)高岡地域地場産業センター内に設置されていた文化財修理工房が、センター移転に伴い令和2年10月に移転リニューアルされた。今後は新工房を活用した事業を支援してまいりたい。

状況を示す写真や資料等



・金工の修理作業の様子

- ・研修会(長浜市、高岡市)は、新型コロナウイルスの影響により中止



・移転した文化財修理工房(外観)



・移転した文化財修理工房(内部の様子)

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
33 菅栽培調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成22年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 菅田の栽培に関する肥料対策、病害虫対策、乾燥技術等の試験的調査を実施し、菅田作付面積の増加につなげる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

昨年、高岡市福岡町本領地内から福岡町舞谷地内へと植え付け場所を変更したが、生育は今年度も順調である。この結果から、周囲に多くの水田がある平野部の農地で菅を栽培するのは不適であり、用水から除草剤等の混入が少ない、山間集落や麓集落における栽培が適しているとみられる。この条件下で、福岡地内にさらに適した場所があるか調査中である。

昨年度作成したマニュアルを使用して栽培を行った結果、昨年度よりも背が高く良質な菅の栽培に成功した。また、マニュアルを作成したことにより、小矢部園芸高校を中心とした近隣の高校生達と共に菅の生育をし、担い手と生産力の向上にもつながった。

今年度は、季節や天候との関係を研究しており、さらに良質な菅を栽培するため日々研究に努めている。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- | | |
|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | <ul style="list-style-type: none"> ・機械化による作業工程の効率化 ・田畑がある場所での良質な菅栽培 |
|--|---|

状況を示す写真や資料等



苗づくり



菅生育状況



菅田管理



刈取り作業

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
34 ものづくり・デザイン科推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成18年度～
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容
 本市の伝統工芸である漆器、銅器等を中心に地元の優れた産業について、体験を通じた学習を行う。市内小・中・義務教育・特別支援学校の5年生、6年生、中学校1年生を対象に、5年生は年間20時間、6年生は年間25時間、中学校1年生は年間25時間の授業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

高岡市の伝統工芸や地域の産業について、見たり触れたり体験したりすることにより、豊かな感性と郷土を愛する心を育てることにつながった。
 令和2年度は、小学校6年生、中学校1年生で青貝塗りのループタイや彫刻塗りのオルゴール、錫のフォトフレームや小物等の制作に取り組んでいる。5年生は、大学、工芸センター、美術館、伝統工芸師等の地域人材を招聘し、デザイン学習に取り組んだ。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 ・新型コロナウイルス感染症の影響のため、実習時期を2学期以降に遅らせた。

状況を示す写真や資料等

学校名	小学校	
学年	5年生	6年生
題材	デザイン学習	オルゴール制作
取組や作品の写真	 【ペットボトルの底の形について】	
	 【身近な生活におけるデザインについて】	

小学校の取組み例



【「高岡で生まれたクラフトとその現在展」の共催イベントでの展示】

児童生徒の作品を、保護者、市民に広めている例

学校名	中学校	
学年	1年	
題材	錫の置物	
取組や作品の写真		

中学校の取組み例

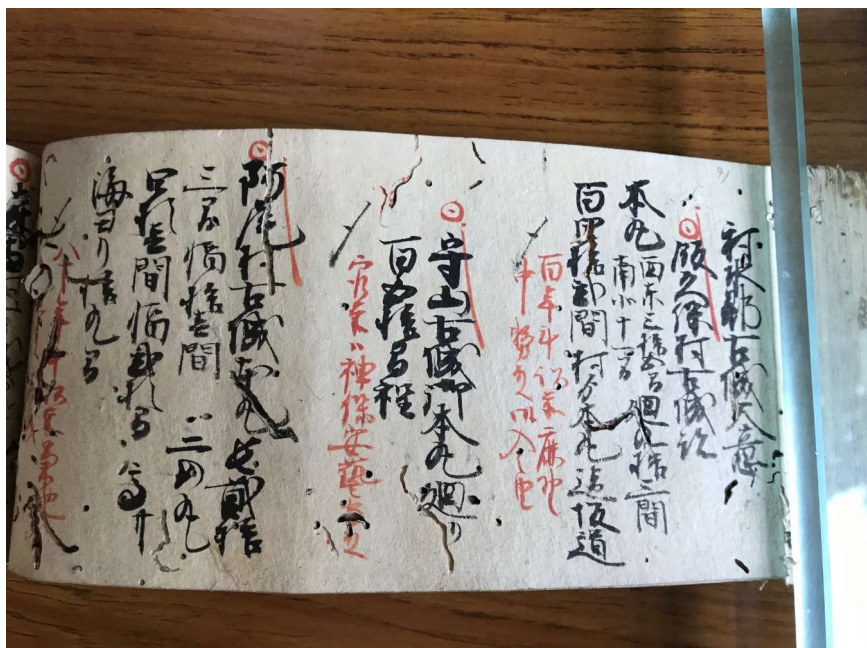
評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
35 前田家関連史跡調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成20年度～令和2年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金		
計画に記載している内容	平成20年度から着手し平成24年度で終了した高岡城跡詳細調査の成果を公開し、高岡城跡に対する関心と理解を高めるため高岡城跡シンポジウムを開催する。守山城跡の詳細調査を開始し、遺構確認調査、地中レーダ探査、測量調査、関連城郭調査を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年度:守山城跡詳細調査(遺構確認調査)			
守山城跡の石垣の図面を作成中である。 文献史料調査を実施し、守山城跡の新たな史料を発見した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	なお、高岡城跡詳細調査は平成24年度で終了し、平成25年度に調査の成果を公開する高岡城跡シンポジウムを開催した。		

状況を示す写真や資料等

守山城跡詳細調査 (令和2年4月1日～令和3年3月31日)



史料調査

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
--	--------	-------

項目	現在の状況
36 町並み保存・都市景観形成補助事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成21年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 景観形成重点地区等の区域内で景観づくり基準に適合し、景観形成に寄与する修景を行う者及び景観重要建造物又は景観重要樹木の保存又は管理を行う者に対して補助する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観形成重点地区等の区域内での修景事業に対する補助を行った。
 平成30年度: 修景補助1件
 令和元年度: 修景補助3件
 令和2年度: 修景補助0件
 新型コロナウイルスの影響もあるが、少しずつ修景が図られており、良好な景観形成につながっている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

住民協定地区(勝興寺寺内町通り)の修景事例



修景前



修景後

当該協定地区の景観づくりの基準に沿って、住宅の新築工事に対し助成を行った。

評価軸④-37
 その他、高岡の歴史的風致の維持及び向上に寄与する事業

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	

37 ミラレ金屋町開催事業(旧金屋町楽市開催事業)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---------------------------	---

事業期間 平成20年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 高岡鑄物発祥の地であり、伝統的な街並みが残る金屋町において、産学官が連携して、ストリートマーケットとイベントを組み合わせた工芸と生活と産業が同居するゾーンミュージアムとなる「金屋町楽市」や、後続事業で、町家暮らしや伝統文化を体験する「ミラレ金屋町」を開催することにより、金屋町を拠点に、高岡市の中心市街地の賑わい創出を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

今年度の「ミラレ金屋町」については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が懸念されることから、例年のイベントを中止し、開催時期、内容を下記のとおり変更し、来年度以降の来街者の増加を図るためのコンテンツ作りを行った。

【開催時期】3月

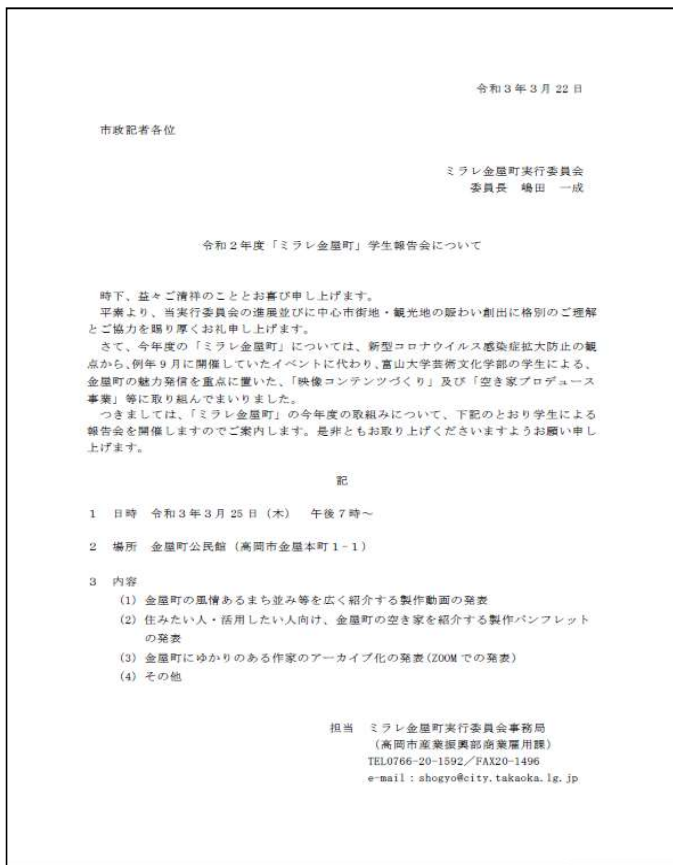
【実施内容】

- ①お店紹介動画
- ②職人等インタビュー映像(You Tube)
- ③移住促進パンフレット
- ④出店作家アーカイブ

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	事業実施にあたっては学生の協力が不可欠であり、コロナ禍における「課外活動の自粛」や「(参加者を含めた)安全性」など考慮した開催時期、内容を検討してまいりたい。
--	---

状況を示す写真や資料等



評価軸④-38
 その他、高岡の歴史的風致の維持及び向上に寄与する事業

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
38獅子舞大競演会開催事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	毎年		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	平成23年度で36回となる獅子舞大競演会は、中心商店街全体で取り組んできた歴史あるイベントである。子どもから高齢者まで幅広い年齢層が長時間に亘って楽しめるイベントとして、市民の支持も高く、市外からも多くの方々が中心市街地を訪れており、春の一大イベントとして開催している。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
例年5月3日に開催していた「高岡獅子舞大競演会」は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、開催を見送った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	獅子舞大競演会は歴史的風致の重要な要素であり、高岡の中心市街地で多くの人に見てもらう機会を作ることは伝統行事の継承につながるため、次年度以降、新型コロナウイルス対策を講じたうえで開催できるように検討してまいりたい。		
状況を示す写真や資料等			

進捗評価シート

評価軸④-39

その他、高岡の歴史的風致の維持及び向上に寄与する事業

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
39 土蔵造りのある山町筋イベント助成事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 毎年
 支援事業名 市単独事業

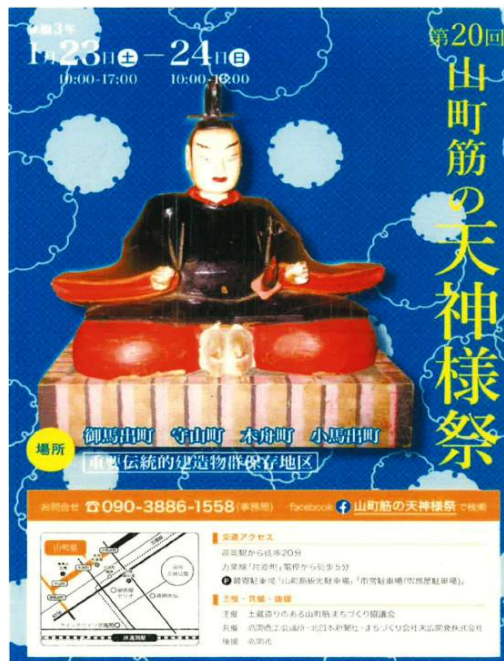
計画に記載している内容
 土蔵造りの伝統的建造物が集積する山町筋で、街並みの紹介、観光産業の創出等を目的として各種イベントを開催している。
 ①高岡山町筋土蔵造りフェスタ(8月下旬)
 ②山町筋の天神様祭(1月下旬)
 ③山町筋のひなまつり(3月中旬)

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

例年8月下旬に開催していた「高岡山町筋土蔵造りフェスタ」は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、開催を見送った。「山町筋の天神様祭」は1月23(土)・24(日)に店先や座敷での天神様展示のみ行った。同じく「山町筋のひなまつり」も3月13(土)・14(日)に店先や座敷でのお雛様展示のみ行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	来年度も新型コロナウイルスの拡大が見通せない中で、今年度は開催できなかった「高岡土蔵造りフェスタ」を開催できるよう検討、開催できた「山町筋の天神様祭」「山町筋のひなまつり」に関しても、さらに良いものにするための手立てを検討してまいりたい。

状況を示す写真や資料等



評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
40 祭行事・イベント振興事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	毎年
支援事業名	市単独事業、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

計画に記載している内容	高岡御車山祭、伏木曳山祭、二上射水神社築山行事、八丁道おもしろ市、御印祭へ補助する。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

例年、以下の祭行事・イベントは実施しているが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止された。
 高岡御車山祭
 伏木曳山祭
 二上射水神社築山行事
 八丁道おもしろ市
 御印祭

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



高岡御車山祭



伏木曳山祭(けんか山)



二上射水神社築山行事



八丁道おもしろ市

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
41 「高岡再発見」プログラム事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 高岡市内の小学校、義務教育学校、特別支援学校に在籍している1～4年生の児童が、家族といっしょにスタンプラリー形式で歴史の薫る町並みや建造物、祭りを見学・体験する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・今年度、商工会議所と連携し、新たに、「松風殿再現展示」や「たかしん高峰記念館」のエリアポイントを追加した。「日本遺産」に特化したコースを設け、児童の関心を高めるとともに、高岡の歴史文化に関する事業間の連携を図り、郷土を愛する心を育む教育の充実を図った。
 ・歴史の薫る町並みや建造物30カ所のスタンプと高岡市ならではの祭り(8つ)の内、2カ所をレポートにまとめ、合計32のスタンプをカードに収集する。32のスタンプの内、16カ所分のスタンプを収集した児童に認定バッジを授与した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

・当初令和2年4月25日を事業スタート日としていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、7月25日からスタートした。12月14日に終了し、令和3年3月に認定児童にバッジを授与した。

状況を示す写真や資料等



スタンプラリー配布用カード



スタンプラリー実施要領

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目			現在の状況

42 新たな芸術・文化創造推進事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成25年度～

支援事業名 市単独事業
地方創生推進交付金
文化芸術創造拠点形成事業

計画に記載している内容 文化創造都市高岡の実現に向けた4つの戦略(知る、創る、つなげる、伝える)に基づく事業を実施することにより、高岡のさらなる魅力の形成・発信につなげる

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市民一人ひとりが高岡の文化を知り、文化に親しむ機会を創出することにより、高岡のさらなる魅力の形成・発信に取り組んだ。

【実施内容】

- ・高岡クラフト市場街#市場街TV
オンライン配信により、展示や職人との触れ合い、音楽などのクラフトに関する総合的なイベントを開催。
- ・文化創造都市高岡ウェブサイトの運営
高岡市の歴史・文化に関する情報発信(R2年度PV数25,000)
- ・北陸工芸プラットフォーム形成プロジェクトへの参画
- ・キャラクターを活用した「文化創造都市高岡」PR事業

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



高岡クラフト市場街#市場街TV



キャラクターを活用した「文化創造都市高岡」PR事業



文化創造都市に関する情報発信
(ウェブサイト運営)



産地としての北陸の魅力を多言語で発信

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
			現在の状況
43 日本遺産魅力発信推進事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成27年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	本市の日本遺産のストーリー(「加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡-人、技、心-」及び「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」)を通して、歴史的魅力を溢れた文化財群の国内外に向けた普及啓発や情報発信を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から外出自粛が提唱されたことを受け、令和2年5月から自宅で日本遺産について学べる特選パンフレットセットを希望者に送付した(128セット)。10月には「日本遺産フェスティバルin今治」に参加し、来場者約6,500人にPRするとともに、日本遺産の課題等について他自治体職員と情報交換を行った。また、北前船日本遺産推進協議会関連事業として、北前船が地元にもたらした文化について小学生が学習するプロジェクトを実施した。また、構成文化財のひとつである高岡城跡について多言語対応のリーフレットを制作した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



日本遺産パンフレットセットの送付



北前船日本遺産推進協議会関連事業
(海と日本プロジェクトの様子)



日本遺産フェスティバルin今治でのPR
(PRブース、公開講座)



高岡城跡多言語解説リーフレット
(日本語・英語・中国語(繁・簡))

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	

45 「高岡の歴史文化に親しむ日」に関する作品募集事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成29年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 ユネスコの無形文化遺産に「高岡御車山祭」が登録されたことを契機に、5月1日を「高岡の歴史文化に親しむ日」とし、市内小・中・義務教育・特別支援学校の児童生徒の郷土を愛する心を育む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

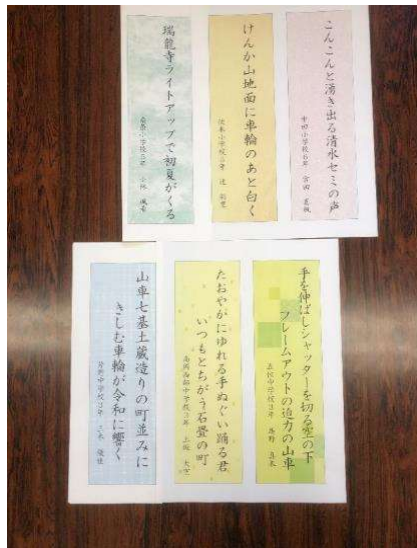
例年、市内小・中・義務教育・特別支援学校の児童生徒を対象に、壁新聞、俳句、短歌の作品募集を行っている。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止により、学校が臨時休業となったため、俳句、短歌の作品募集並びに表彰は中止した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



俳句・短歌(令和元年度作品)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度
1 文化財の調査・研究の充実		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財に関する認識を一層深めるため、歴史学、考古学、美術史学、建築学、民俗学等、様々な観点からの調査研究を推進していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和2年度は、文化財の調査・研究として以下の事業を実施した。
 ・前田家関連史跡調査事業
 守山城跡詳細調査(遺構確認調査、文献史料調査、石垣の類例調査)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

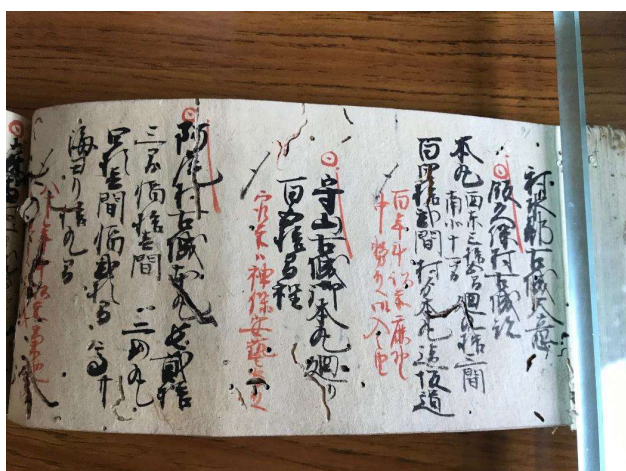
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

石垣の類例調査



文献史料調査



評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
2 文化財の適切な保存管理		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財の指定を推進し、豊かな歴史文化の息づく地域づくりを目指していく。 各指定文化財について段階的に保存管理計画の策定を行っていく。 文化財の防災訓練の定期実施や防犯対策の徹底を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財の適切な保存・管理を目的に令和2年度は主に以下の事業を実施した。(予定) ・瑞龍寺山門ほか8棟保存修理事業 北回廊の屋根葺き替え工事完了。(P5参照) ・勝興寺大広間及び式台ほか11棟保存修理事業 総門の修理工事が完了した。(P7参照) ・重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業 山町筋・金屋町の両伝建地区において、伝統的建造物の修理及び修景を実施した。(P10・11参照) ・高岡御車山保存修理事業 木舟町御車山車輪・車軸、高花挿台・下花挿台の修理を実施した。(P14参照) ・防災訓練の実施 1月中下旬予定 瑞龍寺、氣多神社、金屋町重要伝統的建造物群保存地区、佐伯家住宅、勝興寺、 山町筋重要伝統的建造物群保存地区、戸出御旅屋の門、武田家住宅 ・防犯対策(日々の見回り等)の注意喚起			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
【勝興寺:総門】修理完了			
			
【木舟町】車輪修理の様子			

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
3 郷土教育と人材育成の継続		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 伝統技術に関わる専門的な人材の育成を図っていく。
 学校における総合学習の時間等を利用して、地域の歴史や自然環境、文化財、景観等について、幅広い視点から高岡を学ぶ機会をつくっていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の保存又は活用に係る郷土教育・人材育成として、以下の事業を実施した。

- ・菅笠保全対策事業(P15参照)
 菅笠製作技術後継者の育成等
- ・次世代型ものづくり人材育成事業(P16参照)
 高岡銅器、漆器についてのデザインの初歩知識と基礎技法の修得、実践的内容を中心とした技術力向上等
- ・文化財等修理補助事業(P19参照)
- ・菅栽培調査事業(P20参照)
 昨年度作成した菅栽培マニュアルに基づく良質な菅栽培の実施等
- ・ものづくり・デザイン科推進事業(P21参照)
 青貝塗りのループタイ、錫の小物等の制作授業を実施

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



菅笠製作技術後継者の育成



次世代型ものづくり人材育成

評価軸⑤ 効果・影響等に関する報道		
報道等タイトル	年月日	評価対象年度 令和2年度 掲載紙等
令和の万葉集制作 全国から「高岡の歌」公募	R2.4.25	富山新聞
赤レンガの銀行活用へ始動	R2.5.29	富山新聞
高岡の魅力 中心地巡り発見 スマホでスタンプラリー	R2.6.26	富山新聞
マンホールに勝興寺	R2.6.26	富山新聞
勝興寺総門修復完了	R2.7.21	北日本新聞
獅子舞トラム出発進行 万葉線 沿線の伝統行事発信	R2.8.11	富山新聞
菅笠づくり技術生かし50種商品化	R2.8.15	富山新聞
高岡の観音霊場一覧 瑞龍寺・まちの駅ネットワークがマップ作製	R2.8.16	北日本新聞
1800分の1高岡城下町のジオラマ完成	R2.9.29	富山新聞
万葉集朗唱 動画でリレー	R2.10.3	富山新聞
高岡地場産センター「ZIBA」開業	R2.10.4	北日本新聞
歴史都市高岡に学ぶ 全国城下町シンポジウム開幕	R2.10.11	富山新聞
北前船ゆかりの地ぐるり 海運の歴史 地域文化学ぶ	R2.10.15	北日本新聞
高岡市吉久が重伝建地区 千本格子の町家評価	R2.10.17	北日本新聞
歴史ある町並み後世へ	R3.2.1	北日本新聞
重伝建建築に升方家	R3.2.6	富山新聞
勝興寺 夜空に浮かぶ	R3.3.17	北日本新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
歴史的風致維持向上計画に係る各種報道等を通じて、市民自ら高岡の歴史を再認識し誇りと愛着を持っていくとする機運が高まった。特に、吉久地区では、伝統的な町並みが重要伝統的建造物群保存地区として選定される見込みとなったこともあり、地域独自の町家建築を保存・活用しようとする意識が醸成され、より住み良いまちづくりの実現が期待されている。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし		
状況を示す写真や資料等		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>北日本新聞 令和3年3月17日</p>  <p>勝興寺 夜空に浮かぶ</p> <p>LEDの光に照らされ夜空に浮かぶ本堂＝勝興寺</p> <p>重要文化財・勝興寺(高岡市伏木古国府)で4月9～11日に開かれる「平成の大修理」の完工記念イベントに向け、境内を発光ダイオード(LED)で照らす「灯りの勝興寺」の試験点灯が16日夜、同寺で行われた。小雨が降る中、重厚な造りの本堂が夜空に浮かび上がった。イベント関係者ら約20人がLED照明器具約50台を境内に設置し、光の明るさや角度などを調整した。日が暮れると本堂や、本堂と本坊をつなぐ渡り廊下などが照らし出され、辺りは幻想的な雰囲気</p> <p>来月ライトアップ 大修理完工記念</p> <p>に包まれた。ライトアップは期間中、午後6時～同9時に行う。同寺は23年間にわたる平成の大修理を終え、4月11日に竣工式を迎える。完工記念イベントは同市伏木地区の高岡商工会議所議員や商店主らでつくる「新風会」と北日本新聞社でつくる実行委員会が主催。期間中はライトアップのほか、境内でファッションショーや映画の上映、夜間見学会を行う。いずれも入場、参加は無料。問い合わせは同商議所伏木支所、電話0766(44)0457。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>北日本新聞 令和2年10月17日</p>  <p>高岡市吉久が重伝建地区</p> <p>文化審 選定答申</p> <p>千本格子の町家評価</p> </div> </div>		

項目

1 ストリート構想に基づく施策・事業の推進

計画に記載している内容 平成27年3月の北陸新幹線開業の機会を活かし、「歩いて楽しいまちづくり」をより一層推し進めるため、新高岡駅からJR高岡駅を經由し金屋町までの範囲、及び伏木地区を対象にした魅力的な「通り」を創出していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

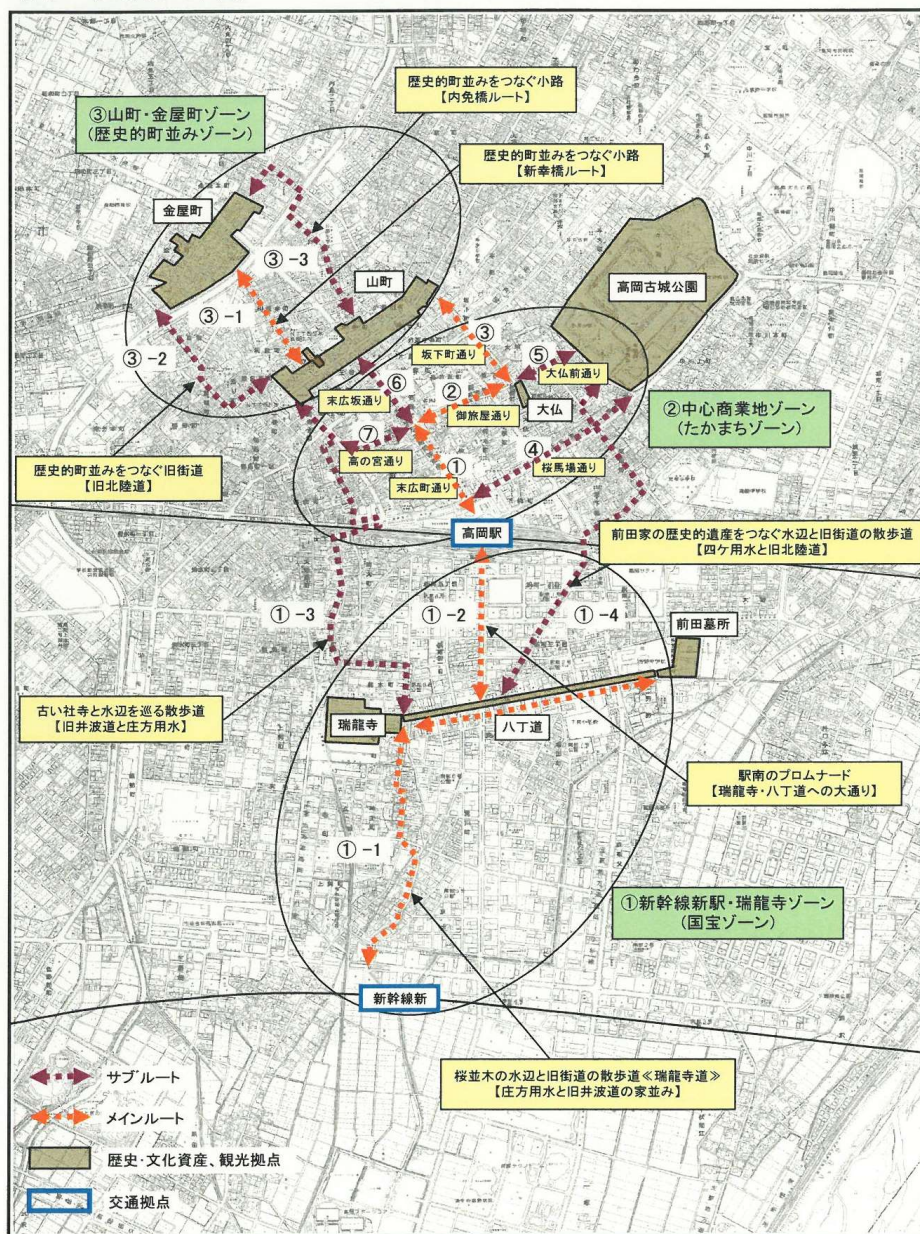
たかおかストリート構想に基づき、エリア内の歩行者案内用矢羽根サインの整備を進めているところである。また、伏木地区についても、平成28年2月に策定した伏木地区ストリート構想に基づき、歩行者案内用拠点サインの整備(平成29年度に完了)や勝興寺寺内町の道路修景整備事業(P13参照)に取り組んでいる。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

各ゾーンのルート図



たかおかストリート構想

		評価対象年度	令和2年度
項目			
2 歴史まちづくり事業の住民活動等への広がり			
計画に記載している内容	文化財の保存・活用において、今後市民と行政の連携体制の整備や活動支援の充実を図っていく必要がある。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
<p>歴史まちづくり計画に基づき、事業を進めてきたことにより、徐々に市民の歴史に対する認識も深まってきているほか、歴史まちづくりに関連する活動に広がりが出てきている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年6月には、山町筋と金屋町の2つの伝建地区を結ぶ沿線における道路の修景整備を契機とし、観光客が散策を楽しめる地域づくりを目的とした川原本町周辺街づくり協議会が設立された。 ・平成26年9月には、重要文化財勝興寺に通じる参道として風情漂う落ち着いたまちなりにふさわしい景観づくりを進めることを目的とした、勝興寺内町通り景観協定が締結された。 ・平成27年4月には、袋町と平米町の2町で旧町名が復活し、獅子舞が10年ぶりに復活するなど地域コミュニティの結束が強まった。 ・平成28年4月には、西海老坂地区で、江戸時代から口伝で受け継がれてきた伝統を絶やさないよう、獅子舞保存会が立ち上げられ、22年ぶりに獅子舞が復活した。 ・平成28年5月には、吉久まちづくり協議会で、将来的な重要伝統的建造物群保存地区の選定に向け、景観まちづくり表彰や様々なイベントを実施する「継承部会」のほか、教養講座や街歩きを行う「町育部会」などが立ち上げられ、活動が行われている。 ・平成28年9月には、国宝瑞龍寺において「ものづくり」などの高岡の歴史や文化をベースに観光振興へ向けた人づくりを目的とした熱中寺子屋が開校し、様々な分野の人たちが集まり、刺激しあう場所ができ、以降、継続的に取り組みが続けられている。 ・平成28年には、地元の映画制作会社や実行委員会により、金屋町が舞台で鋳物師を主人公にした映画「デンサン」の撮影が行われ、平成29年に試写会が行われた。 ・平成29年4月には、歴史的資産を活用した町家再生事業において、伝統的建造物を商業施設として改修した「山町ヴァレー」がオープンした。管理運営は若手事業主らでつくる(株)町衆高岡が担っている。 ・平成30年5月には、金屋町において空き家だった町家を移住体験施設として改修した「さまのこハウス」がオープンした。管理運営は地元住民らでつくるNPO法人「金屋町元気プロジェクト」が担っている。また、同NPO法人の誘致活動により平成31年1月には金屋町に空き家を活用した飲食店が2店オープンした。 ・令和元年度には開港120周年を迎えた伏木地区において地元関係者を中心に構成する伏木観光マップ作成協議会が立ち上げられ、重要文化財勝興寺などの歴史的資産や伏木曳山祭(けんか山)などの祭礼行事をはじめ、同地区の魅力ある観光地・飲食店・宿泊施設などを案内するまち歩きマップの作成に取り組んだ。 ・令和2年度には重要伝統的建造物群保存地区に選定される吉久地区において地元関係者が空き家となった築100年の町家をイベント会場などに活用する動きが見られている。 			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			
北日本新聞 令和2年11月4日 			

評価対象年度	令和2年度
・法定協議会等におけるコメント	
<p>コメントが出された会議等の名称: 第13回高岡市歴史まちづくり協議会、第14回高岡市歴史まちづくり協議会 第15回高岡市歴史まちづくり協議会</p>	
<p>会議等の開催日時: 令和2年7月20日(月)午後3時～午後4時30分、令和2年10月1日(木)午前10時～午前11時30分 令和2年12月24日(木)午前10時～午前11時</p>	
<p>○歴史まちづくり計画の第2期計画(案)について</p> <p>～第13回高岡市歴史まちづくり協議会～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統工芸技術の営みの継承はかなり難しいと考えており、従来の政策で実現可能とは思えないが、本計画の中で、踏み込んでいけるものなのか。 ・ 第2期からは古代に遡って歴史的風致を取り組むことになっているが、古代の歴史まで遡ると北陸道は国府から石堤を通過して、福岡に行く道も対象となる。また、家持が通ったと思われる場所も対象とすることも考えられ、どのあたりまで取り扱うかについて議論が必要である。 ・ 北部地域であれば、家持が歌を詠んだ小矢部川のラインを押さえていくことや万葉歴史館の機能充実の取組と関連する場所として押さえていくことも重要であると思う。 ・ 鉢伏山や雨晴からの眺望が良い場所もエリアに入れてはどうかと思う。 <p>～第14回高岡市歴史まちづくり協議会～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高岡の昭和レトロを評価している若者もいるので、近代建築をどうしていくのかを検討していくことが、次の段階で重要になってくると思う。 ・ ストリート整備事業について、AR等を活用していくことは非常に興味深いですが、コロナ禍の中で現地に行くことに対するハードルが高くなっているため、オンラインの中でも体験できるような切り口も考えられたら良いかもしれない。 <p>～第15回高岡市歴史まちづくり協議会～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的意義を具体的に感じることでできる模型などを作ってPRするようなことも良いと思う。 ・ デジタルデータであれば、3D作品にしたり、データ共有もスムーズにできると思うので、こういったシステムの導入も検討していただきたい。 	
<p>○今後の対応方針</p> <p>～第13回高岡市歴史まちづくり協議会～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ご指摘のあった伝統技術の継承や祭礼行事の継承は具体的にどのようにしていくかは難しい課題となっており、具体の事業を進めていく中で、これまでハード中心に行ってきたが、これからはソフトの取組を重点的に実施していきたいと考えている。 ・ 歴史的風致維持向上計画では、歴史的建造物と現在まで続いている人々の営みが一体的となって整備していく計画であり、その観点からどの程度まで対象とできるか今後検討していきたい。 ・ 歴史的建造物を位置付けることが計画においては必須条件であり、人々の営みと関連付けていけるかどうかも検討が必要である。 <p>～第14回高岡市歴史まちづくり協議会～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成10年頃に県教育委員会で近代和風建築について調査され、建築物のリストアップがなされており、それが、市の計画に反映されている。ただ、最新のデータにアップデートしていくことは必要であると考えている。 ・ ストリート整備事業については、オンラインで満足せずに現地へ来ていただくことも考えながら、オンラインを活用した取組についても検討していきたい。 <p>～第15回歴史まちづくり協議会～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ デジタルデータといったシステムについては今後研究していきたい。 	